

平成21年度 大和市障害者自立支援協議会 就労部会報告

自立支援協議会 就労部会

参加者（敬称略）：ワークステーション・菜の花（成沢）、ふきのとう舎（芳賀）、
ワークセンターやまと（濫井）、(NPO) やまねっと（山岸、薄葉）
フレッシュゾーンボイス（八賀）、あゆみの家（掘込）、
大和市自立支援センター（星野、宮野、佐藤）

1. はじめに

平成21年度の自立支援協議会就労部会では、昨今の経済情勢の影響により、就労の場や福祉施設が作業訓練の一環として企業から受注している作業の激減等があるため、施設及び関係機関が連携して、就労の場や受注作業の開拓を行っていくシステムや連携方法を構築できないか検討を行った。また、「ネットワーク」や「連携」という言葉が一人歩きしてしまっている状況のため、「ネットワーク構築」や「連携」の必要性や内容、範囲等を検証しながら、検討を進めた。

2. 活動内容

就労支援ネットワーク構築について

施設及び関係機関が連携して、受注作業等の開拓や共同受注を行っていくシステムや連携方法を構築できないか検討を進め、各事業所の作業状況の情報共有を行うとともに、各施設等の受注先企業や受注内容等についての整理を行った。現在は、情報共有化のために作成した資料等を基に、営業活動に必要なパンフレットやホームページの作成準備を進めており、今後は、市内企業についての情報収集及び情報整理を行い、効率的な開拓方法の検討を進めていくための準備を始めていく。また、職場や受注作業、自主制作製品の販路先等の開拓については、(NPO) やまねっとに配置された就労促進員と協働し、効率的な営業活動を展開できるよう活動していく。

※ネットワーク構築の目的

1. 協働しての職場・受注作業開拓
2. 企業からの共同受注（作業受託の効率化）と自主制作製品の販路拡大
3. 就労支援に関する情報共有法の構築

3. まとめ（就労部会として来年度の活動について）

来年度の活動については、今年度の課題を継続して検討していく予定である。上記課題を踏まえ、事業所間の垣根を越えて、就労先、受注作業、自主製品販路拡大のためのシステム作りや営業活動に必要なパンフレットやホームページ作成を進め、大和市として可能な就労支援ネットワークの構築に努める。その上で、周辺自治体の就労部会とどのように連携を図っていくのかの整理を行う。